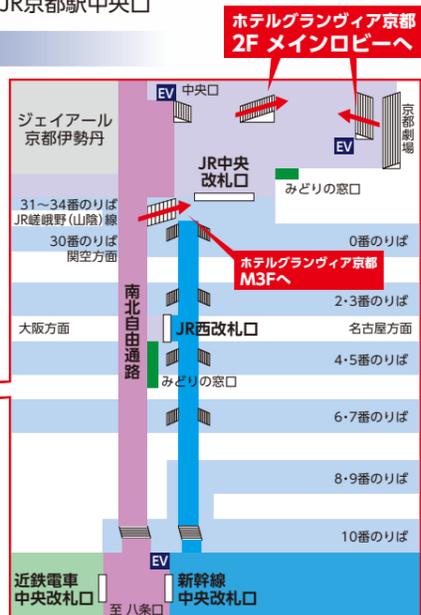
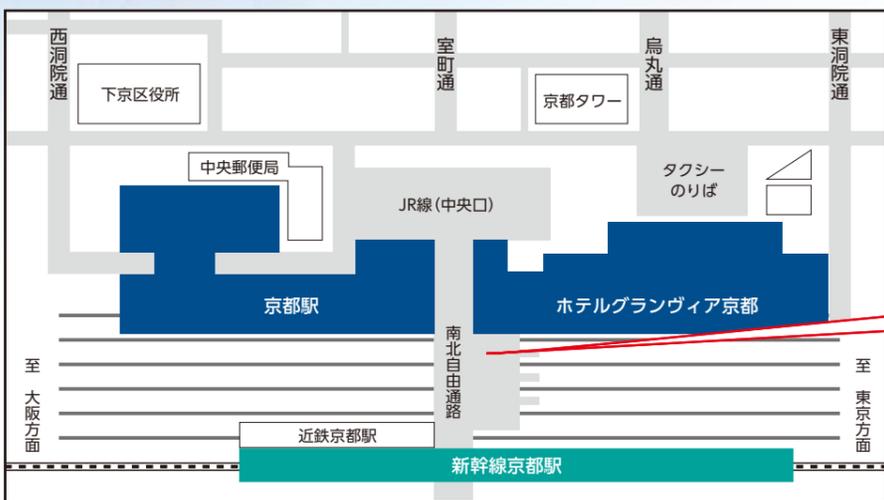


会場 ホテルグランヴィア京都 3階

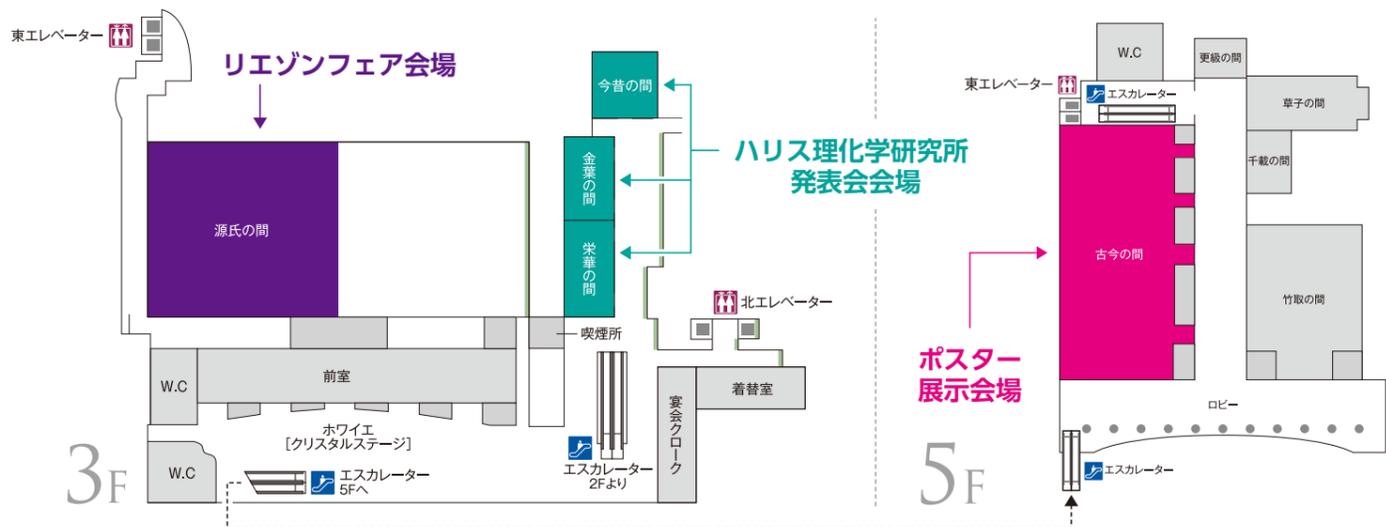
源氏の間、栄華の間、金葉の間、今昔の間

〒600-8216 京都府 京都市 下京区 烏丸通塩小路下ル JR京都駅中央口

会場案内



会場案内



リエゾンフェア・ハリス理化学研究所発表会のお申し込み方法

申し込みフォーム、FAX、メールのいずれかの方法でお申し込みください。

申し込みフォーム <http://www.doshisha.ac.jp/form/liaison/event2/>

FAX 0774-65-6773 メール liaisonfair@mail.doshisha.ac.jp

※件名を「リエゾンフェア・ハリス発表会」として必要項目を記入してお送りください。

お申込締切日

2017年 11月 21日(火)

同志社 リエゾンフェア 2017

フリガナ			
お名前			
勤務先名			部署・役職
連絡先 (勤務先等)	〒		
TEL			e-mail @

※ご記入いただきました個人情報は「2017年度同志社大学リエゾンフェア・ハリス理化学研究所発表会」に関する管理・連絡のために利用するとともに、同志社大学研究開発推進機構、ハリス理化学研究所からの各種ご案内に利用させていただきます。

リエゾンフェア・ハリス理化学研究所発表会のお問合せは同志社大学リエゾンオフィスへ
TEL:0774-65-6223 FAX:0774-65-6773 E-mail:jt-liais@mail.doshisha.ac.jp

2017年度 同志社大学リエゾンフェア・ハリス理化学研究所発表会

知と知をつなぎ、切り拓く未来

大学や企業、研究機関などの様々な「知」が繋がりに、未来の人々の生活や社会を豊かにする、「知」の出会いの場になることを目指します。

プログラム

- 12:30~ 開場・受付
- 13:00~ 開会挨拶 同志社大学 学長 松岡 敬
- 13:05~ ハリス理化学研究所紹介 同志社大学 ハリス理化学研究所長 橋本 雅文

2017年11月28日(火)
ホテルグランヴィア京都 3階

特別講演 「ナノ・マイクロスケールの材料化学:次世代膜技術とバイオテンプレート」



同志社大学
ハリス理化学研究所
教授
彌田 智一

＜経歴＞

京都大学大学院工学研究科石油化学専攻修了(京都大学 工学博士)。前任は東京工業大学資源科学研究所教授。2017年4月より現職。テンプレートと異分野融合をキーワードにしたナノ・マイクロスケールの材料化学の研究、具体的には高分子のミクロ相分離、藻類やタンパク質の微細構造を利用し、金属、半導体、高分子など異種材料への転写複合化と機能探索の研究に取り組んでいる。

基調講演 「イノベーション創出に向けたパナソニックの取り組み」



パナソニック株式会社
専務執行役員
宮部 義幸氏

＜経歴＞

1983年大阪大学大学院工学研究科修了。同年、松下電器産業(株) [現パナソニック(株)]に入社。本研究所でハイパーメディア、ワークステーション、衛星デジタル放送システムなどの開発に従事。その後、新規事業の立ち上げ、技術戦略スタッフを経て、2008年に役員に就任。2011年常務取締役 技術担当、2013年AVCネットワークス社長、2014年代表取締役専務、2015年技術・モノづくり・調達・IT革新総括を担当。2017年6月より現職。

14:20~ 休憩

リエゾンフェア プログラム

ハリス理化学研究所発表会 (プログラムの詳細は中面をご覧ください)

源氏の間	栄華の間	金葉の間	今昔の間
研究シーズ発表 「産学連携活動・研究事業紹介」 同志社大学 リエゾンオフィス 所長 岩井 誠人 「次世代デジタルPCRプラットフォームの創製へ向けて」 同志社大学 理工学部 化学システム創成工学科 准教授 橋本 雅彦 「超音波によるフィルム型高速可変焦点レンズ」 同志社大学 理工学部 電気工学科 准教授 小山 大介	分野 情報通信	分野 シニアライフ	分野 環境
研究拠点紹介1 「超音波照射による生体への影響と新しい医療技術開発について」 同志社大学 超音波医学研究センター センター長 秋山 いわき (生命医科学部教授)	分野 ナノテクノロジー	分野 心理学	分野 社会調査
研究拠点紹介2 「進化適応型自動車運転支援システム ドライバイン・ザ・ループ」 同志社大学 モビリティ研究センター センター長 佐藤 健哉 (理工学部教授)	分野 機能材料	分野 医薬・医療	分野 文化財調査

17:30~ ポスター展示・交流会 (古今の間)

18:30~ 閉会挨拶 同志社大学 研究推進部長 竹廣 良司

主催 同志社大学 研究開発推進機構 リエゾンオフィス・知的財産センター、同志社大学 ハリス理化学研究所
 後援 近畿経済産業局、京都府、京都市、京田辺市、木津川市、精華町、久御山町、井手町、国立研究開発法人科学技術振興機構、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、中小機構 近畿、京都産学公連携機構、公益社団法人関西経済連合会、公益財団法人京都産業 21、公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構、公益社団法人京都工業会、関西サイエンス・フォーラム、京都商工会議所、京田辺市商工会、城陽商工会議所、日本経済新聞社 京都支社、京都新聞、日刊工業新聞社、フジサンケイ ビジネスアイ、株式会社けいはんな、京都リサーチパーク株式会社、NPO法人同志社大学産学連携支援ネットワーク、同志社校友会大阪支部産官学部会(LCC)、同志社理工学会

同志社大学 リエゾンオフィス・知的財産センター TEL 0774-65-6223
 同志社大学 ハリス理化学研究所 TEL 0774-65-6220

リエゾンフェア・ハリス理化学研究所発表会 ポスター展示

展示時間14:20～18:30(コアタイム 17:30～18:30) 古今の間

同志社大学の研究センターや各分野の研究内容について、教員やコーディネーター、学生がポスター形式で紹介します。

研究センター

超音波医科学研究センター

超音波診断・治療は被曝がなく、かつ生体作用が小さいことから、安全性の高い医療技術として位置づけられ幅広い分野で利用されています。超音波医科学研究センターでは、ヒトにやさしい医療を目指して、超音波を基軸とした新しい診断・治療技術の開発に取り組んでいます。医用超音波技術の安全性の確立、高磁場環境下で使用できる超音波イメージング装置の開発、超音波画像の高画質化、コウモリに代表される超音波によって環境を知覚する生物のアルゴリズムや、生体組織のかたさ測定技術の臨床応用を目指しています。

モビリティ研究センター

高齢化社会に向けて多くの人が活発に活動できるように、安全・安心で、快適な移動手段が求められています。本研究では、高齢者を想定したドライバとなるヒト、走行中のクルマ、および、その周辺環境をリアルタイムにセンシングし、人工知能技術においてヒトの動作を予測し周辺環境に適應した車両の運転支援技術を確認することで、現在活発に行われている無人走行可能な自動運転に関する研究とは異なり、ヒトとクルマの共存および周辺車両や環境との協調を行う進化適応型自動車運転システム[「ドライバ・イン・ザ・ループ」]の研究を行っています。

先端医工学研究センター

企業や社会との連携のもとで、難治な角膜炎に対する再生医療の製品化および治療薬の創製を目指しています。再生能力に乏しい角膜内皮細胞が障害されると重症の視力障害を生じます。点眼薬は存在せず、治療法は角膜移植のみとなります。我々は同志社大学で確立したヒト角膜内皮培養技術を用いて、主たる原因疾患であるフックス角膜内皮ジストロフィの疾患モデル細胞を樹立し、病態解明と治療薬の開発に取り組んでいます。角膜内皮治療薬に関する複数の特許出願を行っており、アカデミア発の世界初となる治療薬の製品化を目標とした早期の治験開始に向けて、協業体制の構築を目指しています。

分野別研究

装置・デバイス

照明が人の感じる温度に与える影響
理工学部 インテリジェント情報工学科 教授 **三木光範**

超音波を用いた骨密度計測技術
理工学部 電気工学科 教授 **松川 真美**

フィルム・食品の検査向け2次元複屈折プロファイラの実用化の検討
理工学部 電気工学科 准教授 **江本 顕雄**

超音波によるフィルム型高速可変焦点レンズ
理工学部 電気工学科 准教授 **小山 大介**

次世代デジタルPCRプラットフォームの創製へ向けて
理工学部 化学システム創成工学科 准教授 **橋本 雅彦**

情報通信

高齢者ドライバを支援するドライビング・エージェント・アーキテクチャ
理工学部 情報システムデザイン学科 教授 **Ivan TANEV**
理工学部 情報システムデザイン学科 教授 **下原 勝憲**

自由視聴点VR
理工学部 情報システムデザイン学科 教授 **土屋 隆生**

Neural Processing of Temporal Synchrony of Audiovisual Stimulus in Mongolian Gerbil
生命医科学部 医情報学科 准教授 **小林 耕太**
大学院 生命医科学研究科 博士前期課程 1年次 **伊藤 優樹**

自由視聴点VR
理工学部 情報システムデザイン学科 教授 **土屋 隆生**

Neural Processing of Temporal Synchrony of Audiovisual Stimulus in Mongolian Gerbil
生命医科学部 医情報学科 准教授 **小林 耕太**
大学院 生命医科学研究科 博士前期課程 1年次 **伊藤 優樹**

ECAP加工によるマグネシウム合金の高性能化
理工学部 エネルギー機械工学科 助教 **湯浅 元仁**

遮光下でMRSAも殺菌する酸化亜鉛セラミックス
理工学部 機能分子・生命化学科 教授 **廣田 健**

アミノ酸からつくるスマート高分子材料
理工学部 機能分子・生命化学科 教授 **古賀 智之**

バイオミネラリゼーションを模倣した高靱性機械材料の開発
理工学部 機能分子・生命化学科 教授 **水谷 義**

ナノテクノロジー

非平衡状態を利用したバイオテンプレート粒子の機能化
理工学部 化学システム創成工学科 教授 **塩井 章久**

グラフェンを鑄型に利用した各種金属酸化物のナノシート化
理工学部 化学システム創成工学科 教授 **竹中 壮**

らせん藻類由来の金属マイクロコイルの量産プロセスとテラヘルツ帯電磁波応答特性
ハリス理化学研究所 教授 **彌田 智一**

水溶性フッ素含有π共役系ポリマーの開発と芳香族アミンセンシング
研究開発推進機構 特別研究員 **野瀬 啓二**

医療・医薬

シクロデキストリン誘導体によるDDS及び機能性材料の創成
理工学部 機能分子・生命化学科 准教授 **北岸 宏亮**

新規ながん診断法:病理切片を引っ張って調べる！
生命医科学部 医工学科 教授 **剣持 貴弘**

新規多価型ペプチドによるインフルエンザウイルス感染制御
生命医科学部 医生命システム学科 教授 **西川 喜代孝**

副作用の無い抗アルツハイマー病戦略
生命医科学部 医生命システム学科 准教授 **舟本 聡**

Acyl-CoA:cholesterol acyltransferase (ACAT) を標的としたアルツハイマー病治療薬の開発
生命医科学部 医生命システム学科 助教 **浦野 泰臣**

タンパク質分解制御による新規ガン生存機構の解明と創薬応用
生命医科学部 医生命システム学科 助教 **和久 剛**

心理学

感情科学の展開ーヴントの心理構成論からパレットの心理構成論へー
心理学部 心理学科 教授 **余語 真夫**

社会調査

科学技術系専門職の就業環境、キャリア、エートス:組織、制度、社会構造からのアプローチ
社会学部 社会学科 教授 **藤本 昌代**

共同利用・共同研究拠点(文部科学省)

赤ちゃん学研究センター “ここらからだ”の発生・発達メカニズムの解明

赤ちゃん学研究センターは人の始まりとしての赤ちゃんを多様な研究分野を通して探り、それらを融合させ、あるいはさまざまな角度から、人そのものを知ろうとする研究を進めています。顔認知、人見知り、母子関係、他人理解能力、リズムと各種疾患の関係究明などに取り組み、今までに得られた知見を育児・保育・乳幼児教育につなげていく活動も行っています。2016年度より文部科学省の共同研究・共同利用拠点として認可されました。

産官学連携支援体制

D-BRIDGE
(NPO法人同志社大学産官学連携支援ネットワーク)

D-BRIDGE

D-BRIDGEは、地域経済の活性化や経済社会の発展に貢献することを目的とし、産官学連携の促進や起業家のサポートの為の事業を推進するNPO法人です。「未来経営塾」「逸品ものづくり経営塾」「社会起業家養成塾」等、一般公開型のセミナー、登録企業型の課題解決プロジェクトや勉強会を通じた社会起業家支援活動等他、起業家を対象にした経営支援相談や、土業会員メンバーによる専門家相談も実施しています。

研究成果展開事業 リサーチコンプレックス推進プログラム (国立研究開発法人科学技術振興機構)

i-Brain×ICT「超快適」スマート社会の創出グローバルリサーチコンプレックス

けいはんな地域では本事業を通じ、i-Brain(脳・人間科学技術)とICTをコアとした異分野融合研究開発によって、「ココロの豊かさ」で感動・活力・共感を生み出す「超快適スマート社会」の実現を目指しています。本学は、当事業で人材育成と設備共用活動を担当し、新規事業創出を牽引するプロデューサー人材の育成、大型設備の共通利用の推進と地域を一体化したバーチャルキャンパスでの教育プログラムの提供に取り組んでいます。これらを通じ、けいはんなでの自立的イノベーション・エコシステムの共創に貢献します。

D-egg
(同志社大学連携型起業家育成施設)

D-egg

D-eggは同志社大学を中心とする産官学連携による新技術、新事業展開の拠点として、平成18年10月に独立行政法人 中小企業基盤整備機構が整備したインキュベーション施設で、同志社大学・京都府・京田辺市・中小機構が連携して運営しています。居室は3タイプ(試作開発室、実験研究室、ITオフィス)で計33室あり、幅広い実験、研究、試作等が可能です。常駐のインキュベーションマネージャーが日常的に経営・技術・資金・販路等の支援やセミナー・交流会の開催を行っています。

ハリス理化学研究所発表会 プログラム(14:30～17:30)

栄華の間	金葉の間	今昔の間
分野 情報通信	分野 シニアライフ	分野 環境
自由視聴点レンダリング技術の開発 土屋 隆生 (理工学部 情報システムデザイン学科 教授)	高齢者における定期的なダートトレーニングが認知機能に及ぼす影響 竹田 正樹 (スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科 教授)	磁化率の逆たたみ込みから求める磁性ナノ粒子の粒径 福間 浩司 (理工学部 環境システム学科 准教授)
Novel Method for Stimulating Cochlear Nerves: Application of Infrared Laser Stimulation to Hearing Aid 小林 耕太 (生命医科学部 医情報学科 准教授) 玉井 湧太 (大学院 生命医科学研究科 博士前期課程 2年次)	歩行中の自身による掛け声は歩行リズムを安定化させるかー低体力高齢者への応用ー 渡邊 裕也 (スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科 助教)	降水および河川水中の硫酸イオンの硫黄同位体分析 横尾 頼子 (理工学部 環境システム学科 助教)
分野 ナノテクノロジー	分野 心理学	分野 社会調査
非平衡状態を利用したバイオテンプレート粒子の機能化 塩井 章久 (理工学部 化学システム創成工学科 教授)	感情科学の展開ーヴントの心理構成論からパレットの心理構成論へー 余語 真夫 (心理学部 心理学科 教授)	科学技術系専門職の就業環境、キャリア、エートス:組織、制度、社会構造からのアプローチ 藤本 昌代 (社会学部 社会学科 教授)
グラフェンを鑄型に利用した各種金属酸化物のナノシート化 竹中 壮 (理工学部 化学システム創成工学科 教授)	The Prevalence of, and Self-reported Reaction to, Sexual Contacts between Young People and Older Partners in Japan and the United States Philip TROMOVITCH (ハリス理化学研究所 教授)	小地域産業連関表の作成と利用 赤尾 聡史 (理工学部 環境システム学科 准教授)
分野 機能材料	分野 医薬・医療	分野 文化財調査
遮光下で強力な殺菌性を示す酸化亜鉛粉体 廣田 健 (理工学部 機能分子・生命化学科 教授)	新規多価型ペプチドによるインフルエンザウイルス感染制御 西川 喜代孝 (生命医科学部 医生命システム学科 教授)	淡路島・石切丁場址踏査と洲本城石垣調査概報 津村 宏臣 (文化情報学部 文化情報学科 准教授)
ECAP加工に供したマグネシウム合金の耐食性 湯浅 元仁 (理工学部 エネルギー機械工学科 助教)	シクロデキストリン誘導体によるDDS及び機能性材料の創成 北岸 宏亮 (理工学部 機能分子・生命化学科 准教授)	